

平成 27 年度 算 数 I 問 題 用 紙

次の各問いの にあてはまる数を記入しなさい。

[1] $(\text{ } - 3.2) \div \frac{3}{8} - 1\frac{2}{5} = \frac{11}{15}$

[2] 直方体があります。たての長さ^{たて}と横の長さの比は4:3、横の長さ^{よこ}と高さの比は2:3で、高さは15 cmです。この直方体の体積は cm^3 です。

[3] 長さ1mのひもを切ってA, B, Cの3本に分けました。AはBより23cm短く、BはCより18cm長いです。Bの長さは cmです。

[4] 空の円柱の容器A, Bがあります。底面積はAが 40cm^2 、Bが 60cm^2 です。A, Bそれぞれの容器に毎秒 80cm^3 の水を同時に入れはじめると、深さの差が18 cmになるのは 秒後です。

[5] 7枚のカードに、1から7までの数字が1枚に1つつ書いてあります。この中から3枚のカードを取り出します。取り出したカードの3つの数字の和と積がともに3の倍数となるような組み合わせは、全部で 通りあります。

[6] 栗と柿があります。栗は柿より43個多いです。これを何人に配ります。栗を1人に5個ずつ配ると2個足りず、柿を1人に2個ずつ配ると3個余ります。柿は 個あります。

[7] 何人かの生徒の平均身長を調べると、146.8 cmでした。そこへ身長151.6 cmのA君が加わったので、平均身長が147.2 cmになりました。またそこへB君が加わったので、平均身長はさらに0.5 cm高くなりました。B君の身長は cmです。

[8] ある品物を何個か仕入れ、1個80円の定価をつけました。いくつか売れ残り、利益が123400円になると予想しましたが、売れ残った品物の個数は予想の $\frac{3}{7}$ だったので、利益は133000円になりました。売れ残った品物の個数は 個です。

[9] 図1の図形は、図2の4つの図形を重ねて直線を加えたものです。影の部分の面積は cm^2 です。ただし、円周率は3.14とします。

図1

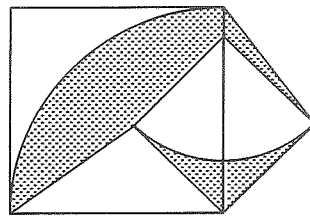
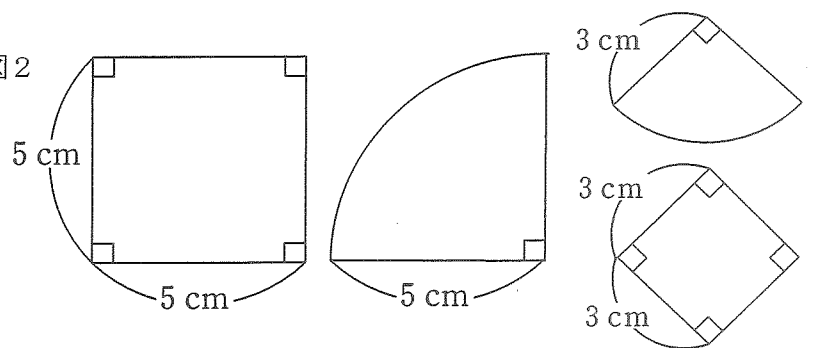


図2



受験番号 <input type="text"/>	得点 <input type="text"/>
	合計 <input type="text"/>